

社会課題解決に挑み続けるために

課題の**根っこ**まで掘り下げる支援



解決の**葉っぱ**を広げる支援



実施要項

群馬県共同募金会では、社会課題の解決のために活動団体とともに「3カ年の目標」を立てて事業費助成、活動助成等を行っています。

助成を続けるなかで…

- ▶社会課題の原因や本質を見極めないまま解決の取り組みを進めても事が改善しない。
- ▶効果的に社会課題を提示できないために連携先や協力者がみつからず、資金調達も思うように進まない。…といった、「課題解決における課題」が見えてきました。

課題解決に挑み続ける人を応援するために、助成金だけでなく支援のしくみを試行するために、「ねっこ&はっぱ助成」を実施します。



社会課題解決のために

課題の**根っこ**まで掘り下げる支援



解決の**葉っぱ**を広げる支援



助成要件など

| | |
|--------|--|
| 助成額 | 1件あたり上限100万円 |
| 助成件数 | 2件(ねっこ1件、はっぱ1件) |
| 助成対象期間 | 令和8年4月～令和9年3月 |
| 助成対象事業 | 【ねっこ】社会課題に関する調査・研究、事業立案など 【はっぱ】自走するためのファンドレイジング実施など |
| 助成対象経費 | 上記事業に必要な経費及び伴走支援費用 |

応募要件

- 地域福祉にかかわる事業を実施する非営利の法人・団体であること
- 取り扱う社会課題に対して、解決の取組実績が1年以上あること
- 平日の日中に連絡をとれる担当者が1名以上いること



選考基準

- なぜ今この社会課題に向き合うのか、動機づけの妥当性(熱意・当事者性)
- 課題の深刻度合い、既存の解決策の不十分さ
- 伴走支援など非資金支援との親和性



前提条件

- この助成は「非資金支援」を**試行的に行う**ものであり、支援側も活動団体とともに成長することを期待して行う
- 支援の結果は原則として公開することを前提にし、今後の非資金支援のしくみづくりに役立てる



赤い羽根 ねっこ&はっぱ助成 実施フロー



- ・必要な支援の見立て
・伴走支援者選定、契約
- ・実施計画作成、共有
- ・調査等の実施(ねっこ助成)
・ファンドレイジングなど(はっぱ助成)



| | | | | | |
|--------|---------|---------------------------|---|------------|-------------|
| 支援の枠組み | 活動団体 | 伴走支援者選定 | 実施計画作成 | 計画の実行 | 計画実施結果まとめ |
| | 伴走支援(者) | 活動団体と契約 | 支援成果・目標設定 | 進捗確認・アドバイス | 伴走支援成果まとめ |
| | 支援チーム | 必要な支援の見立て 助成事業のブラッシュUP | 目標や計画の確認 | 適宜相談対応 | 当該助成のしくみ考察 |
| | 共募事務局 | 支援内容確認・助成金交付 | ①活動団体・支援者連絡会議開催(3~4回程度を予定) ②地域円卓会議を適時に開催(1団体につき1回開催) | | 当該助成のレギュラー化 |

課題の**根っこ**まで掘り下げる支援



社会課題に関する調査・研究、事業立案などを想定して支援

実施結果を県共募のHPや 県共募年次報告書に掲載します

解決の**葉っぱ**を広げる支援



自走するためのファンドレイジング実施などを想定して支援

この取組の「翌年度の活動財源」を 確保する方策を立て、試行します

◎共同募金会として試行する非資金支援

| | 支援の担い手 | 支援内容 |
|--------------------|--|--|
| 想定している 伴走支援(例示) | <ul style="list-style-type: none"> ・伴走支援型ファンドレイザー ・非営利活動向けに事業展開しているコンサルティングやシンクタンク ・プロボノ ・先行して事業を展開しているNPO等 | <ul style="list-style-type: none"> ・課題の見立て、活動団体の実行計画作成サポート ・活動団体の取り組みの進捗確認 ・適宜アドバイス ・ハンズオン(現場実践など) <p>※活動団体自身が、共同募金会からの助成金を活用して、主体的に支援を受ける</p> <p>※支援の契約等は活動団体と支援者とが直接結ぶ</p> |
| 支援チーム 県共募事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・合同会社めぐる(県共募アドバイザー) ・シンクタンク系(未定) ・NPO活動実践者(NPO協議会から推薦) ・社会福祉分野(調整中) <p>※「会議体コアメンバー」と「分野別アドバイザー」の2パターンの関わり方を模索</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・課題の見立て、伴走支援者の支援計画サポート ・伴走支援の進捗確認 ・適宜アドバイス ・活動団体・支援者連絡会議開催(年2回) ・地域円卓会議開催(1団体1回) |

◎この助成で目指すこと

社会課題の解決に挑み続ける人(団体)を支えるしくみを群馬県内につくる

- ・「活動団体だけが頑張る」という状況を改善したい。
- ・社会の構成員それぞれができることを出し合い、協力し合うきっかけをつくりたい。
- ・非営利分野における「活動団体支援の担い手」を増やしたい。

赤い羽根 ねっこ&はっぱ助成 応募～完了までの手続き

| 事 項 | 内 容 |
|-------------|--|
| 応募方法 | 所定の様式で応募書を作成のうえ、必要書類を添えて「Eメール」でご提出ください。 3月6日(金)必着 です。 応募書ダウンロード>> https://www.akaihane-gunma.or.jp/info1/6403/ <お知らせ新着> 提出先Eメールアドレス>> shinsei@akaihane-gunma.or.jp |
| 応募前相談 | 「予約カレンダー」からご予約ください。 (応募に際し相談は必須ではありません。) Google予約カレンダー>> https://www.akaihane-gunma.or.jp/shinsei_contact/ |
| 審査方法 | 3月16日(月)午後 に「面接審査」を行います。 ただし、応募多数の場合は書類による予備選考を行い、その時点で不採用になる可能性があります。 |
| 審査結果通知 | 3月23日(月)までにEメールで通知します。 |
| 助成決定通知 | 4月2日(木)午後を開催する「共同募金配分式」で伝達します。 共同募金助成先団体(約60～70団体)が一堂に会する機会です。是非ご参加ください。 |
| 非資金支援の見立て調整 | 4月中に数回打ち合わせをし、方向性を決めます。 |
| 助成金交付 | 上記の非資金支援の見立て調整終了後にご提出いただく「交付請求書」に基づき振込交付します。 |
| 精算・完了報告 | 令和9年1月末で一旦ご報告いただき、群馬県共同募金会の助成プログラムへの反映を検討します。 令和9年3月末まで事業実施可能で、その後「完了報告書」をご提出いただきます。 (助成金の残金は返金いただきます。) |